

第4章 食事環境

第1節 食事環境の改善

食事は、日々の活力を生み出し発育・発達のための栄養を摂取するという面はもとより、食べることを楽しむことや、豊かな人間形成の醸成の場となります。豊かな人間性を育むためには食事環境を整えることが大切です。

教室における食事環境の整備

現在、多くの学校では、給食を教室で食べています。学習活動の場である教室を、食事の場としてふさわしいものに整えるために、様々な工夫が必要です。

- ・ 運搬、配膳、配食等の活動を、安全で衛生的・効率的に行うこと。
- ・ 黒板カーテン（黒板カーテンは清潔に管理すること）を設けたり、花を飾るなどの工夫をして、明るく清潔な雰囲気努めること。
- ・ 好ましい人間関係を作るため、指導に配慮した食卓づくりやグループづくりを行うこと。

このような整備にあたっては、校内で共通理解を図り、児童生徒の自主的活動を生かし進めていくことが大切です。

食堂・ランチルームの環境整備

食事のための環境としては、校内に専用の食堂やランチルームが整備されていることが望ましいといえます。

食堂・ランチルームの環境整備については、施設の条件、例えば全校規模の食堂から、一ないし複数の学級が使用できる小規模のもの、教室を改修したり、また講堂を兼ねているものなど様々なものがありますが、学校の実情に応じて整備することが望まれます。

食堂・ランチルームでの食事は、教室から環境が変わることで、より食事の楽しい雰囲気を作ることができ、しかも準備や後片付けが効率的にできます。また、複数学級による会食をすることにより、幅広い人間関係を育むことにもつながります。

なお、指導にあたっては、食堂等の規模が大きくなるほど大きな集団を動かすことになるので、給食時間と人の流れに沿った施設の使用方法など綿密な計画を立て、指導内容及び方法などについて教職員間の共通理解を図る必要があります。

野外給食場の整備

普段は、教室やランチルームでの食事となりますが、気分を変えて外で食事をすることも可能です。野外給食場は教室内では味わえない、開放的で明るい雰囲気をもっています。そこで食事をすることは、さらにおいしく楽しいものになると考えられます。

野外給食場の使用については、衛生面の配慮が必要です。室内と違って、外気に直接食べ物をさらすこととなりますので、手早い効率的な配膳が大切になってきます。配膳台と食卓との配置、当番の児童生徒数、食べ物の取り扱いなどに注意します。

また、施設設備としては、水道・配膳台・椅子・食卓・食物等に直接日光の当たらない設備や安全な運搬経路は、最低必要なものです。

野外での給食活動は、天候や季節に左右されるということも留意しなければなりません。

また、野外給食場の素材も木材やコンクリート・新建材・竹などいろいろなものがあり、屋根の有無や、木陰、給食専用の施設や野外教室としても兼用できるところもあります。

食器具の改善

学校給食は、体に必要な栄養の摂取だけでなく、充実した献立内容や多様な教育的意義付けがなされるようになり、見た目も美しく食欲をそそる盛り付けの工夫なども必要になってきます。

そのような観点から、はしやスプーン・茶わん・汁わんなどについても、料理に適した、安全で質の高い食器具を使用することが、より豊かな食事の場となり、望ましい食習慣や食事のマナーを身に付けるための基礎的な条件となるので、きめ細かな改善・努力が大切です。

第2節 食事形態の工夫

学校給食の目標を達成するため、様々な食事形態をとることも効果的です。クラスの仲間以外の人たちや担任以外の先生方と交流を深めることや、保護者や地域の方々と給食をともにすることで、思いやりの心や協調性、社会性を育むこと、地域理解や食文化についてなど教育的効果が期待できます。

また、給食の食材の生産者や納入業者を招いてのふれあい給食は、子どもたちが給食にたずさわる方々の御苦労や食材に対する理解を深めるとともに、関係者の学校給食に対する意識を高めることにつながります。

ふれあい給食の例

形態	目的	内容
交流給食	異学年との交流を深め、お互いに正しい食事のマナーや思いやりの心を身に付ける。	異学年や学級間、または、縦割りなど何人かずつグループに分かれ、様々な組み合わせを行い会食する。
親子給食	保護者に日頃の給食活動の様子や給食献立を知ってもらい、学校給食に対する理解を深め家庭での食生活の改善につなげる。	保護者に、給食の配膳の様子から参観してもらい、食事の様子を知ってもらう。また、学校給食の意義等説明し、食に関する意識を高める。
敬老給食	児童生徒の祖父母や、地域のお年寄りを招待して交流を深めるとともに、学校給食に対する理解を深める。	給食時間の前に全校児童生徒と交歓会で、昔の遊びや様子などについて一緒に活動する。
招待給食	担任以外の先生達や地域の方々、給食にたずさわっている方々を招待して交流を深めるとともに、学校給食に対する理解を深める。	生産者の方々に普段の御苦労などを聞くことで、食材に対する愛着などが育つように、お話していただく機会を設ける。